

1. 会長挨拶

2. 学校からの報告

校長

子どもたちは充実した夏休みを過ごした。新学期に入り、朝ご飯を食べていない、遅刻などを抱えている児童がいる。教育委員会訪問では落ち着いた雰囲気の中で学んでいるという報告を受けた。10月は学習発表会が行われる。それに向けて各学年で取り組んでいる。

教務主任

- 夏休みの放課後子ども教室ではたくさんの学びがあった。
- 2, 5年生は地域の方をお願いをして、お仕事体験の学習を進めている。
- ナラミースタッフさんにも2学期も地域連携学習でお世話になる。
- 小中連携教育の日があり、教員同士で交流をした。部活動体験や職場体験などを行っている。

生活主任

- わくわくチェックの集計より、1学期は時間を守って行動、係や当番などを意識して行動できていた。しかし、自分から挨拶ができていなかったのが、重点的に指導している。挨拶ストリートをリニューアルしている。
- 夏休み中のいじめ案件はなかった。6年生の不登校児童は週2回、登校時間数を増やす方向で動いている。3年生の児童は時間を決めて登校をしている。体力向上では水泳指導をし、検定証を全員に配布。現在は長縄チャレンジを実施している。

研究

- 教員が夏休みに参加した研修はそれぞれが研修報告をしている。
- 授業公開は9月4日にならのみ教諭、5日は指導教諭、12日の教科等研では音楽専科、ならのみ学級が行った。

学校評価アンケート 大島

- 8割以上を「よく出来ている」、「だいたいできている」を目指している。教員評価と併せて12月に再び行う。外に出て遊んでいる」という項目は高学年が低くなっているのが大縄や学級での取り組みで増やしていきたい。

学力調査結果

○6年生

国語の全体の傾向として、短答や選択問題は良いが、長い文章を読んで書くことに対する結果が良くなかった。算数は図形の円周率を求める問題や図形の敷き詰め問題が難しい。日常的に図形を取り入れるなどの工夫で伸ばしていきたい。数量計算は東京都を上回っている。理科は物質とエネルギーは正答率が高い。電流や水溶液などは学年での積み重ねなのでよく出来ていた。「生命」や「地球」は学習する時期が短く、正答率があまり良くなかった。それらを踏まえた上での指導を行っていくことが必要である。

○5年生

全体的にとっても良かった。必要なものを選んで書くことは苦手である。しかしA問題に関しては力をもっている。活用問題に成果が表れるように指導していく。

意識調査では高まっているので学力向上を掲げて取り組んできた成果が出ている。

四小の学校事情を考えて、分析、授業改善を行っていく。

授業改善推進プラン

○学力調査の分析を踏まえて、授業に活かしていけるようにしている。

今年度の研究テーマを軸にして、学年の縦の流れをつくり、積み重ねながら取り組んでいこうとしている。

3. CS 学校評価について

次回の学校経営協議会までに記入して提出を。

4. 次年度予算計画

諏訪副校長

昨年度並みで予算計画を作成。来年度も要覧をCS予算から出せると助かる。

5. ボランティア養成講座について

岸

テーマ「玉川上水系タヌキ」

11月10日(土)午後 開催予定

9月25日に詳細について打ち合わせを行う。

6. 次回の熟議について

そのようなテーマで熟議をしたいか。

特性の強い子どもを持つ親を支援する活動をしており、違う視点で子どもを見ることができたという成果があったので、4小でもやってみてはどうか。

見た目では分からない子に関して、どのように支援したら良いか。お互いに知識を共有化することは良いのではないか。

多様な経験を持っている教員は良いが、若手が多いので校内でいろいろな取り組みをしている。でも学級に入ればそのような児童や保護者と関わっていかなければならない。このようなテーマで行うのは良いのではないか。

保護者もいた方が良い。もっと大きな会で人数を増やして行った方が良いテーマではないか。

学校のことで何でも話し合う形でもできる。

熟議となったときに、教員と経営協議会の方々との両方向の意見が出し合えるかどうか分からない。

困り感の話だと熟議の定義にはまるのか分からない。

特性の強い子どもたちに関しての知識がなければ難しい。協議会のメンバーはみんなほとんど知識がない。

○四小寺子屋

夏休みに3回実施した。延べ180名の参加があった。

プログラム教育

しくみがわかると子どもたちは夢中になって取り組んでいた。

○モザンビークから一時帰国していた5年生が四小寺子屋に参加した。

○漢字検定を行うに当たっての具体的なプランを今後出していく。

7. 合同プロジェクト会議

健全育成

コンセプトはどうか。「連携」が良いのでは。

見える化をしよう→缶バッジはどうか。ナラミーちゃんのイラスト。

フラッグ（新しいのは79枚ある。布だけのものも含めると85枚）

挨拶とつなげていく。挨拶広め隊とCSが連携できるか。

熟議のテーマはどうか。

○夏休みスペシャルの無断欠席をすることが多い。遅刻も平然してしまうことについて考えてみるのも良い。

○「自分から進んで挨拶する」とは校内か、校外も含むのか。

○現代は様々な事件が発生しており、子どもたちもそれを知っているので誰にでも挨拶するという事は必ずしも言えない。まずは知っている人には自分から挨拶出来るように。

○人間として言葉を交わすことを教えていきたい。

○四小の子どもたちは基本の挨拶は出来ていると思う。

○アンケートでは挨拶や返事ができることに関する項目のパーセンテージは高い。出来ているのであれば、担任とCSとで何を語れば良いか考えたい。

「主体的・対話的で深い学び」において、授業だけで達成できるものではないと考えられるので、「対話的な学び」って何なのかを考えたり、CSができることはないだろうかと考えたりするのも良いのではないか。

○自分が自己開示できた瞬間などを語り合う。まずは担任とCSとの対話が必要なのでは。そこから波及していくきっかけになる。

○「対話的な学び」または「対話」についてを熟議のテーマにしてはどうか。

8. その他

四小の傍聴のガイドラインを作してほしい。メモは取って良いのか。資料はどうかなど。